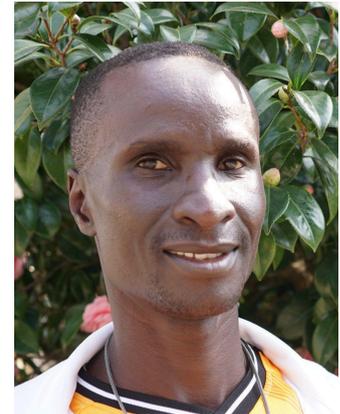


ディケンズ・ワソング・オグット (ボブ)

ノミヤ・フウェヌ・マレール教会(NFMC)

ケニア・ミゴリ郡スナ・ミゴリ

民族 / 部族: ルオ/マサイ
母語: ルオ語
宗教: キリスト教
職業: 農業普及員



仕事について:

「送り出し団体の試験農場に人々が来て、有機農業の学びを深めることができるようになることを願っています。」

ディケンズ・ワソング・オグットは、自身のコミュニティであるケニアのスナ・ミゴリで、30年以上にわたって農業と畜産に携わってきました。彼は、農業と能力開発に焦点を当てた献身的なモビライザーです。気候変動やコミュニティ開発に取り組むいくつかの組織で活動しており、教会では青年部の幹事として、食糧不足を解消するためのボランティア活動も行っています。ボブは、有能さ、信仰、確かなリーダーシップを大切にしています。

ルオ族の人々は勤勉で、友好的で、発展を重んじます。ボブは、共通の目標に向かって協働するために、自分たちの地域にやってくる団体を受け入れる、人々の姿勢に敬服しています。彼らは、主に農作業、漁業、農業、牧畜に従事しており、信仰がコミュニティの中核を担っています。夫婦間の対立はよくある課題ですが、ボブは、双方が歩み寄り問題を解決するために尽力しています。

帰国後、ディケンズは、身につけた有機農業の知識を活かして、スナ・ミゴリで試験農場を設立し、コミュニティの農家たちが持続可能な農業技術を追求するきっかけにしたいと考えています。

送り出し団体について:

1975年に設立されたノミヤ・フウェニー・マラー教会 (NFMC) は、ケニア・ミゴリのコミュニティ全体に利益をもたらす社会活動や農業活動を支援しています。さらに、NFMCは地元の人々に、それぞれが所有する土地に合わせた農業研修を提供しています。団体は、ボブが多様なグループ間の意思疎通について、深い理解を得ることで、農業研修プログラムの発展に伴い、さまざまなコミュニティと関わるための周回の準備を進めていくことを目指しています。

農村リーダーたちについてもっと知りたい方はこちら:

[今年度の学生 - アジア学院 https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/](https://ari.ac.jp/thisyearsparticipants/)